

事業報告書

第5期(2019年度)

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

特定非営利活動法人メディカルイメージラボ

2019年度 事業報告

はじめに

2019年度は前年度(2018年度)に引き続き事業収支の黒字化を実現し、安定した事業を継続することが出来た。

- ・ 全事業の経常収益は237,973,755円で、前年度の199,644,722円に対し119.65%であった。
- ・ 経常費用は224,648,004円で、前年度の195,689,042円に対し114.80%であった。
- ・ 当期経常増減額は13,325,751円で、前年度の3,955,680円に対し336.88%であった。

1. 遠隔画像診断支援事業

- ・ 遠隔画像診断支援事業の経常収益は217,271,912円、経常費用は191,218,560円、当期経常増減額は26,053,352円(対前年比125.55%)であった。
- ・ 2019年度読影総件数は82,981件で前年総件数71,128件に比べ11,853件増、月間平均読影件数は6,915件であった。
このうち、ネットホスピタルへの総依頼件数は20,361件(月平均1,697件)であった(資料01参照)。
- ・ 2019年度の支援医療機関数は42施設であった。
- ・ 2019年度の読影医数(ネットホスピタルを除く)は40名(対前年度比増減無し)であった。ネットホスピタルのMIL担当読影者数は15名であった。
- ・ 読影支援の安定的な継続を実現できた。
- ・ 全読影件数(82,981件)に対するレベル2(11件)の割合は0.013%であった。2018年度は71,128件に対し28件(0.039%)。全質問数(80件)に対するレベル2の割合は11件(13.8%)で、前年度の全質問数(118件)に対するレベル2の割合28件(23.7%)に比べレポートの質の向上がみられた(資料02参照)。
- ・ レポート返送に掛かる時間は2018年度と同様の約2日間を継続できた。
- ・ 2019年度についても前年同様に安定的な読影依頼を受諾するため宮坂理事長が契約医療機関22施設を訪問し連携強化を計った(資料03参照)。
- ・ 読影システムの老朽化に伴い読影用PCとモニター4台を新規導入した。

2. 遠隔放射線治療支援事業

- ・ 遠隔放射線治療支援事業の経常収益は12,806,799円、経常費用は9,744,164円、当期経常増減額は3,062,635円(対前年比120.26%)であった。
- ・ 2019年度治療支援総件数は1,820で前年総件数1,611件に比べ209件増、月間平均治療支援件数は152件であった。(資料04参照)
- ・ 2019年度の支援医療機関数は6施設であった。
- ・ 2019年度の治療支援医師数は、前年度同様13名体制で治療支援業務の持続的安定基盤を維持することができた。
- ・ 放射線治療支援の安定的な継続を実現できた。

3. 医学研究・医学教育支援事業

- ・ 医学研究・医学教育支援事業の経常収益は0円、経常費用は551,438円、当期経常増減額は▲551,438円(対前年比68.20%)であった。
- ・ 医師、学生向け研究会を11回開催した。総出席人数は317名であった。(資料05)
- ・ 医療機関向けの講演会、ミニカンファレンスは開催しなかった。
- ・ 放射線に関わるセミナーの共催、市民向け画像診断、放射線治療に係わる公開講座、放射線技師会が開催する教育講座等の共催については時間的な余裕が無く開催しなかった。

4. 共同研究型医療用システム及び医療材料・医療器材の研究開発事業

- ・ 共同研究型医療用システム及び医療材料・医療器材の研究開発事業の経常収益は0円、経常費用は0円、当期経常増減額は0円であった。
- ・ 枚数課金の自動化システムを開発導入した。
- ・ MIP 処理速度(画像表示、読影配分、課金枚数チェック等)の改善をおこなった。
- ・ 前年度持ち越しとなったMIPレポート画面下段に「レポート内容相談」というボタンを設ける件についてはキヤノン側の開発予定がつかずSNSの利用を検討することになった。

5. 寄付事業

- 北海道大学大学院医学研究院画像診断学教室に400万円の寄付をおこなった。
- 北海道大学大学院医学研究院放射線治療学教室に100万円の寄付をおこなった。

6. その他

- 管理部門の経常収益は7,895,044円、経常費用は23,133,842円、当期経常増減額は▲15,238,798円(対前年比82.07%)であった。
- 2019年度の新規正会員入会数は12名、正会員退会数は1名で現在正会員数49名、賛助会員は26名であった。
- ホームページのSSL化をおこなった。
- 読影サポート用サーバと事務用サーバの入れ替えをおこなった。

以上